

明日に向かつて 創る

大船渡市長 戸田公明

109

4月下旬からのワクチン接種

ぜひ受けましょう！

昨年11月13日、市内1例目の感染者が確認されました。その後、2カ月半にわたり新規感染者はありませんでしたが、2月3日に2例目、5日には市内初のクラスターによる3例目が確認され、その後1週間で8例目まで感染者数が増えました。

2月14日には市内中学校で9例目の感染者が確認され、市内に緊張感が走りました。翌日、12例目までの感染者が確認されたことから、直ちに強いアクションを執りました。中学校の2週間休業と、「感染拡大防止特別期間」の設定による3月7日までの公共施設休館などです。その後20日まで連続して感染者が確認され、28例目でストップしたところです。

この間、県・大船渡保健所をはじめ関係者の皆さんには、感染拡大防止に向けたPCRの網掛け検査をはじめ多大なご尽力を、また中学校休業、公共施設休館、「感染拡大防止特別期間」におきましては、関係者・市民の皆さんによる多大なご協力もいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

感染は一旦収束したとはいえ、予断を許さない状況です。引き続きマスク着用・手洗い・三密回避などを実施しましょう。

そのような中、国によりワクチン接種順位が「①医療従事者、②65歳以上の高齢者（高齢者施設に入所している人などへの先行接種を含む）、③高齢者施設などの従事者、基礎疾患を有する人、60〜64歳の人、④その他の人」と示され、市内では3月18日から医療関係者への接種が始まりました。

市としては、早く4月下旬から高齢者施設に入所している人などの先行接種を開始する準備を進めています。近々、市役所から対象者の皆さんへワクチン接種券が送付されますので、確認をお願いいたします。詳細は、広報大船渡5月号や同封チラシでお知らせしますのでご覧ください。

ところで、全国のアンケート調査によれば、ワクチン接種希望者は約3分の2であることが報道されました。接種する人は、感染しても発症リスクが劇的に低下しますが、接種しない人は

リスクが残ったままになります。

人口約35,000人の本市で考えますと、16歳未満の接種対象外人口は約3,500人、16歳以上の対象者は約31,500人であり、仮に、このうち接種希望者をアンケートと同様の3分の2とすると、約21,000人です。これは本市人口の約60%にあたり、残りの約40%の方々は依然として発症リスクが残ります（集団免疫の獲得に必要とされる70%以上の接種に届きません）。

今は、コロナ禍を早期に収束させ、通常の社会経済と生活を取り戻すことが最も重要です。そのためにも、市ではできるだけ多くの皆さんに接種していただけるよう工夫していきます。現在のところ、接種方法としては個別接種（かかりつけ医）または公共施設での集団接種を予定していますが、できるだけ多くの方々に接種していただくためにも、高齢者施設などへの巡回接種や、併せてワクチン接種に係る科学的情報なども提供していきます。

市民の皆さんにおかれましては、自らの発症リスク払拭のため、ワクチン接種を受けていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

飼い犬には登録と狂犬病予防注射を



狂犬病予防法により、犬の飼い主には、飼い犬の登録と、年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

市では、岩手県獣医師会遠野支会と協力して、春季狂犬病予防集合注射を実施しますので、この機会に予防注射を受けてください。

▷対象＝生後91日以上の子犬（市に登録している犬の飼い主に案内はがきを送付します）

▷日程＝4月19日（月）～23日（金）

▷持参するもの＝送付されたはがきおよび右表の注射料金

▷期間中に予防注射が受けられない場合
動物病院などで必ず注射を受け、市役所市民環境課、三陸支所、綾里・吉浜地域振興出張

所のいずれかで、狂犬病予防注射済票の交付を受けてください。

※市では訪問注射は実施していません。

▷その他＝会場、時間、注意事項などは、案内はがきをご覧ください。

▷問い合わせ先

・市民環境課環境衛生係（☎内線124・125）

狂犬病予防注射料金表

	初めて登録する犬	登録済みの犬
新規登録手数料	3,000円	—
注 射 料	2,550円	2,550円
注 射 済 票 交 付 手 数 料	550円	550円
合 計	6,100円	3,100円

